



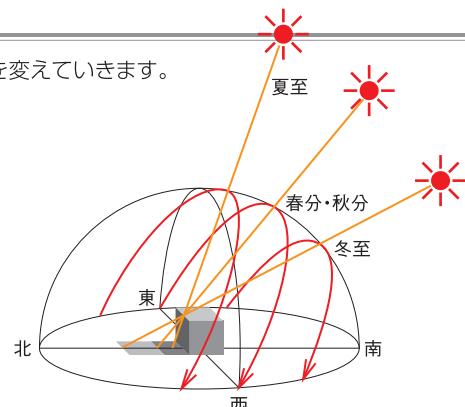
## ソーラーライトの設置場所について

ソーラーライトを有効活用するためには、動作に必要となるエネルギーが発電されるソーラーに、四季を通じて直射日光が充分あたる設置場所であることが条件になります。特に南中高度が低くなり、充電条件の良くない冬場を考慮して設置場所を決めてください。

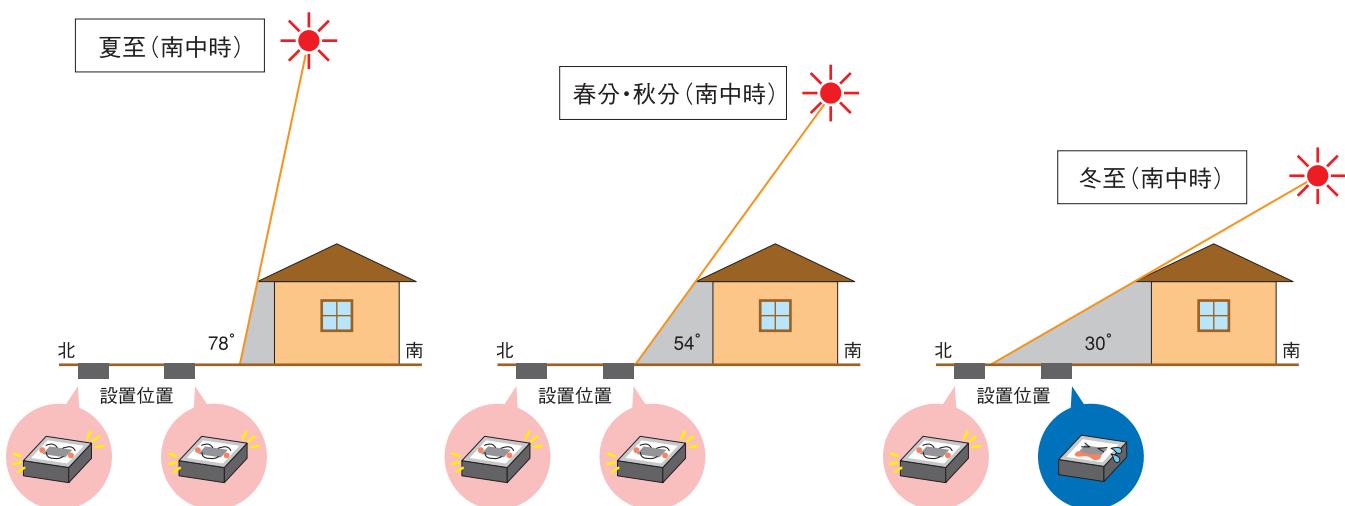
### ■太陽の動きの季節による変化

太陽は季節によってその南中高度（真南に位置したときの高さ）や、日の出・日の入りの位置を変えていきます。

- 春分（3月21日頃） \*日の出の位置は真東になります。 \*日の入りは真西になります。  
\*昼と夜の長さがほぼ等しくなります。
- 夏至（6月20日頃） \*日の出・日の入りの位置は一年のうちで最も北になります。  
\*南中高度は、一年のうち最も高くなります。
- 秋分（9月20日頃） \*日の出の位置は真東になります。 \*日の入りは真西になります。  
\*昼と夜の長さがほぼ等しくなります。
- 冬至（12月20日頃） \*日の出・日の入りの位置は一年のうちで最も南になります。  
\*南中高度は、一年のうち最も低くなります。



### ■季節ごとの建物による日陰の図（北緯36°付近、関東地方）



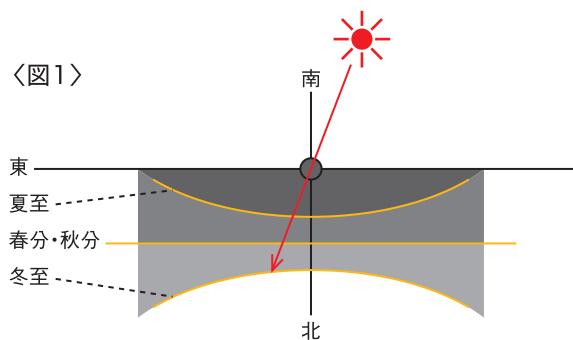
### ■季節ごとの太陽の位置と時間（北緯36°付近、関東地方）

	日の出	日の入	南中高度 (12時)	可照時間 (水平面)
春分・秋分	AM6:00	PM4:00	54°	12時間
夏至	AM4:46	PM7:14	78°	14時間25分
冬至	AM7:14	PM4:46	30°	9時間32分

\*可照時間は、日の出から日の入までの時間です。

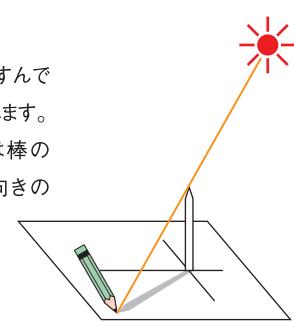
\*上記のように冬場は、可照時間が短く南中高度が夏場の半分以下になるため日陰になり易く、エネルギー源である太陽の直射光の確保が難しくなります。

### ■季節ごとによる、一日の太陽の動きによって変化する日影曲線図



日影曲線図

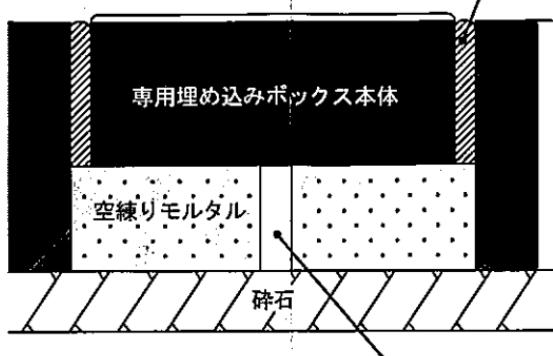
水平線に鉛直にたてた棒の先端がおとす影をむすんで得られる曲線。建物の日照時間を求めるのに使われます。春分・秋分の日影曲線は直線になり、夏至には棒のほうをむいた弧状の曲線になり、冬至には外向きの弧状の曲線となります。



## ■ソーラーライト施工要領（排水の必要性）

機能を保持するために必ず排水処理をしてください。

隙間の充填材には、モルタル又はポリカーボネートに適合したシリコンシール材（例：セメダイナ#8050、東芝トスシール380）をご使用ください。



水分が溜まらない様に、排水穴を設置してください。

※本製品の保証期間は納入日より1年間です。

期間内の不具合発生時には対応させていただきますので、検品/交換を御希望の際には納品書を御提示いただけますようお願いを申し上げます。納品書は大切に保管願います。

設置場所の日照状況により正常動作しないことがあります。特に冬場は十分な日照が得られず点灯しないことがありますですが故障ではありません。